

高校歴史総合プリント（過去問類似）
歴史総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.8

名前

得点

/10

問1 19世紀前半、アブデュルメジト1世が発布したギュルハネ勅令を契機として、オスマン帝国で開始された近代化改革を何というか。行政、軍事、法制などの広範な分野で西洋化が推進されたが、イスラームの礼拝の儀礼に配慮してつばの無いトルコ帽（フェズ）が導入されるなど、伝統との調和も図られた。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ニザームジェディド 2. タンジマート 3. カヌーンエスサン 4. イルティザーム

問2 第二次世界大戦の終結に際し、1945年8月15日にラジオ演説を行い、イギリス本国およびカナダやオーストラリアなどの連邦市民に向けて対日戦勝を祝うメッセージを送った、当時のイギリス国王は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジョージ6世 2. エドワード8世 3. エドワード7世 4. ジョージ5世

問3 ヨーロッパにおける近代的な国際秩序の確立を決定づけ、「神聖ローマ帝国の没落（死体解剖）」とも評される、1648年に締結された三十年戦争の講和条約は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ナイメーヘン条約 2. ライスウィク条約 3. カールロヴィッツ条約 4. ウェストファリア条約

問4 16世紀後半にスペインが太平洋を横断する航路を開き、メキシコのアカプルコからアメリカ大陸産の銀を運んだ。この銀の流入によって中国（明）の税制などにも大きな影響を与えたが、この交易においてスペインがアジア側の拠点としたフィリピンの都市はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ペグー 2. マニラ 3. ペナン 4. ハノイ

問5 19世紀半ばのフランスでは、工業化の進展にともない都市問題が深刻化した。これに対処するため、第二帝政の皇帝の命を受けて大規模な都市改造を断行し、それまでの同じ集合住宅の階数による「垂直的な住み分け」から、地区ごとの「地域的な住み分け」への移行を促す契機を作ったセーヌ県知事は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. フォール 2. フェリー 3. ギゾー 4. オスマン

問6 1990年代の日本社会は、冷戦の終結やバブル経済の崩壊など激動の時代を迎えた。この時期の1995年1月、兵庫県南部を震源とする大地震が発生し、高速道路の倒壊や火災など大都市を直撃する甚大な被害をもたらした。市民による自主的な支援活動が活発化し、「ボランティア元年」と呼ばれる契機ともなった、この災害の名称を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 阪神・淡路大震災 2. 岩手・宮城内陸地震 3. 北海道南西沖地震 4. 福岡県西方沖地震

問7 第一次世界大戦後の1919年、イギリスが制定した高圧的な治安維持法に対し、マハトマ・ガンディーが提唱して開始された、真理の把持を意味する非暴力・不服従運動の現地での呼称を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. スワデーシ 2. アヒンサー 3. サティヤーグラハ 4. スワラージ

問8 鳥羽上皇からその皇女に譲られ、のちに大覚寺統の皇位継承闘争や経済的基盤を支えることになった、中世最大級の規模を誇る荘園群を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 長講堂領 2. 八条院領 3. 鳥羽院領 4. 室町院領

問9 19世紀末のインドでは大規模な飢饉が発生したが、この時期にはまだ展開されていなかった。その後、第一次世界大戦中にイギリスがインドに与えた自治の約束を反故にし、ローラット法などを制定したことに対抗して、1920年代から本格化した、サティヤーグラハとも呼ばれる民族運動を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 民族教育運動 2. 非暴力・不服従運動 3. 国貨愛用運動 4. 英貨排斥運動

問10 唐に渡って正統な教えを学び、帰国後に高野山に金剛峰寺を建立して真言宗を開いた人物は誰か。彼が伝えた教えは加持祈祷による現世利益を重視し、平安貴族の間で広く受容された。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 空海 2. 円珍 3. 円仁 4. 最澄

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 2 タンジマート	19世紀前半、オスマン帝国ではヨーロッパ諸国の進出に対抗するため、西洋化を取り入れた国家の再建を目指す近代化改革が開始された。アブデュルメジト1世によるギョルハネ勅令（1839年）によって本格化したこの改革は、行政、軍事、司法、教育など多岐にわたる分野で近代的な制度を導入した。一方で、伝統的なイスラームの価値観や礼拝の作法（額を床につけるため、つばのある帽子は不都合であること）に配慮し、つばの無いトルコ帽（フェズ）を官僚や軍人の制服として採用するなど、西洋化と伝統の妥協点を探る試みもなされた。
問2	答え 1 ジョージ6世	1945年8月15日の日本の降伏に際し、ラジオ演説を通じてイギリス連邦の全市民に勝利のメッセージを伝えたのは、当時のイギリス国王である。彼は第二次世界大戦期を通じて、ラジオ演説などを通じて国民や連邦市民を鼓舞し続け、戦後の復興期まで王位にあった。
問3	答え 4 ウェストファリア条約	三十年戦争の講和条約であるウェストファリア条約（1648年）では、神聖ローマ帝国（ドイツ）内の諸侯にほぼ完全な主権（同盟権など）が認められ、帝国は事実上解体された。また、スイスやオランダの独立が国際的に承認され、各国家が対等な主権を持つ主権国家体制が確立される契機となった。
問4	答え 2 マニラ	1571年、スペインはルソン島にマニラを建設してアジア交易の拠点とした。これにより、メキシコのアカプルコとマニラを結ぶガレオン貿易が本格化し、アメリカ大陸の銀がアジアへ大量に流入して、明の「一条鞭法」の普及などを促した。
問5	答え 4 オスマン	19世紀半ばのフランス第二帝政期、皇帝ナポレオン3世の命を受けたセーヌ県知事のオスマンは、不衛生な過密都市であったパリの大規模な都市改造を推進した。これにより、道路網の整備や下水道の敷設が行われ、都市の近代化が進んだ。同時に、家賃の上昇などによって労働者層が東部や郊外へ移り住むようになり、それまでの同じ建物内での階層による「垂直的な住み分け」から、地区ごとの「地域的な住み分け」へと都市構造が変容した。
問6	答え 1 阪神・淡路大震災	1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震による災害は、阪神・淡路大震災と呼ばれる。この災害では、全国から多くのボランティアが被災地に駆けつけて支援活動を行い、日本のボランティア活動やNPO（特定非営利活動）の発展に大きな影響を与えた。また、被災地における歴史資料（地域史料）の救出・保全活動（史料ネットなど）が本格化する契機ともなった。
問7	答え 3 サティヤグラハ	第一次世界大戦後の1919年に制定されたローラット法に対し、ガンディーは「サティヤグラハ（真理の把持）」と呼ばれる非暴力・不服従運動を組織して抵抗した。この運動は、19世紀末の飢饉の時期ではなく、第一次世界大戦後の帝国主義支配の動揺期に本格化したものである。
問8	答え 2 八条院領	鳥羽上皇から皇女の暲子内親王（八条院）に譲られた荘園群は八条院領と呼ばれ、中世を通じて伝領され、のちに大覚寺統の重要な経済的基盤となった。この膨大な荘園群は、院政期の皇室の経済力を象徴するものである。
問9	答え 2 非暴力・不服従運動	インドにおけるイギリスの植民地支配に対する抵抗運動は、第一次世界大戦後の1920年代以降にマハトマ・ガンディーの指導のもとで本格化した。1890年代後半のインドにおける大規模な飢饉の時期には、まだこの運動は展開されていない。イギリスが戦後の自治約束を反故にし、高圧的なローラット法を制定したことに対し、ガンディーは真理の把持（サティヤグラハ）を掲げて非暴力・不服従運動を展開した。
問10	答え 1 空海	平安時代初期に唐へ留学した空海は、恵果から密教の正統を受け継いで帰国した。帰国後は嵯峨天皇らの支持を得て、高野山に金剛峰寺を、京都に東寺（教王護国寺）を与えられ、真言宗を確立した。密教の加持祈禱による現世利益の教えは、災厄を恐れ現世の繁栄を願う平安貴族に深く受け入れられた。